

サイエンスカフェの御案内

日時：平成27年1月23日（金）19:00～20:30

場所：文部科学省情報ひろばラウンジ（旧庁舎1階）

東京都千代田区霞が関3-2-2

主催：日本学術会議、文部科学省

テーマ：“赤ちゃん学”－ヒトの始まりの科学

講師：小西 行郎さん 日本学術会議連携会員、同志社大学大学院心理学研究科教授

ファシリテーター：秋田 喜代美さん 日本学術会議連携会員、東京大学大学院教育学研究科教授

内容：

古くから胎児と母親の関係は「二つの体、一つのところ」と言われてきました。つまり、ヒトの心の始まりは母親のところというわけです。しかし、最近の研究からは胎児の持っているさまざまな機能が明らかになってきており、この仮説はもはやひと昔前の迷信となりつつあります。

医学、心理学や脳科学だけではなく、複雑系からロボテクスまで融合した『赤ちゃん学』は新しい学問領域として、各分野の研究者が協力してヒトの始まりとしての胎児を総合的に研究し、ヒトの心の起源にも迫ろうとしています。なかでも私たちは行動（運動）に注目しています。もちろん胎児期の行動は生後の行動と連続しており、生後も環境との相互作用によって子どもの行動は連続して変化してゆきます。『赤ちゃん学』研究の本体は出生後の連続する変化(発達)を、健康、運動、認知、社会性などのさまざまな面から研究することでもあるのです。そうして得られた研究成果を育児、保育や教育の現場に還元して、実際に役立ててもらいたいと願っています。

胎児はなぜ動くのか、そしてそのメカニズムは？胎児はなぜ眠るのか、そしてそのメカニズムは？など実はまだわかってないことばかりの“ヒトの始まり”…。それらひとつひとつを緻密に研究する中、赤ちゃんの「気づき」から意図・意識などの発生が見えてきます。ぜひ一緒に考えてみませんか。



【参加方法】

事前申し込みでの受付となります。「氏名」及び「1月23日サイエンスカフェ参加希望」と書いたEメールを、sciencecafe@devotion-japan.com までにお送り下さい

【参加費】 無料 【定員】 30名

【アクセス】

銀座線「虎ノ門駅」11番出口 直結

千代田線「霞ヶ関駅」A13番出口 徒歩5分

<http://www.mext.go.jp/joho-hiroba/access/index.htm>